

平成20年度 地方の元気再生事業 事業実施調書

(1) 取組名	西川口・安全で明るい街への再生 ～性風俗の街からの脱却～		
(2) 実施団体名	川口商工会議所【構成団体：早稲田大学都市居住環境論早田研究室・早稲田大学川口芸術学校、NPO法人学生キャリア支援ネットワーク、幸にほんご広場、際コーポレーション(株)、埼玉県、川口市】	(3) 対象地域	埼玉県川口市西川口駅周辺地域(約9.3ha)
(4) 代表団体名	川口商工会議所	(5) 推薦団体名	川口市

(6)実施した取組の内容	取組①	“うまいぞ！！西川口／B級グルメタウン”の街づくり推進事業		
	実施主体	川口商工会議所		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:「B級グルメタウン」としての街づくりへの取組の広域的周知活動や新規飲食店の誘致 ・実施時期:平成20年9月～平成20年2月 ・実施場所:川口市西川口1丁目地内 ・取組の目的:「B級グルメタウン」の街づくりによる新たなまちイメージの構築と1階路面空き店舗の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:第3回埼玉ご当地B級グルメ王決定戦の誘致・実施、新たな飲食店誘致事業としてのチャレンジ店舗事業、既存飲食店のPR、消費者モニターアンケート、HPの開設、シンポジウムの開催 ・実施時期:平成20年9月～平成21年3月(埼玉ご当地B級グルメ王決定戦11月24日実施、チャレンジ店舗平成21年2月末開設予定) ・実施場所:川口市西川口1丁目地内 ・取組の結果:第3回埼玉ご当地B級グルメ王決定戦の誘致に成功し、約3万5千人の来場者があった。また、当地区代表として出品した「キューボラ定食」が優勝し、地区内のみならず、マスコミ各社からの多数取り上げられ、広域へのまちの再生へ向けての周知が図られたとともに、チャレンジ店舗への応募(応募総数8件中7件がご当地B級グルメ王決定戦の情報発信による)などの面でも波及効果が得られた。(各種メディアへの露出回数)新聞:22回、テレビ:6回、ラジオ:3回、雑誌等:7回、インターネット:13回等(H21.1.10現在) 	
	取組②	大学・NPOと連携した実践的次世代人材育成、まちづくりへの参加・自己表現の場の提供		
	実施主体	早稲田大学都市居住環境論早田研究室・早稲田大学川口芸術学校、NPO法人学生キャリア支援ネットワーク		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:まちづくり次世代コーディネーター養成講座の開設やまちづくりへの参加、表現の場の提供 ・実施時期:平成20年11月～平成21年1月 ・実施場所:西川口街づくりステーション ・取組の目的:大学・NPOと連携した西川口におけるまちづくり人材育成やまちづくりへの参加の場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:市民力コーディネーター入門講座(全6回の開催)、店舗インタビュー&若者との交流会まちづくり記録・PR映像の作成 ・実施時期:平成20年12月～平成21年3月 ・実施場所:かわぐち市民パートナーステーション ・取組の結果:コミュニティづくり、環境、子育て、若者雇用、文化、福祉、地域情報化などの多様なまちづくり分野での活躍が想定される人材の参加による担い手育成面での貢献が図られたとともに他分野からの地域活動などの提案が寄せられた。 	
	取組③	多言語による情報発信、外国人の活力の発揮		
	実施主体	幸にほんご広場／合地仁美代表(前川口市都市計画審議会委員)		
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:多国語による情報発信と外国人参加支援 ・実施時期:平成20年10月～12月 ・実施場所:西川口街づくりステーション ・取組の目的:異国の地・KAWAGUCHIで頑張る外国人の活力の発揮、支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:Bグルメや個性的メニューを取り扱う既存店舗の紹介パンフレットの中国語・ハングル語・英語への翻訳によるPR ・実施時期:平成20年11月～平成21年3月 ・実施場所:西川口街づくりステーション ・取組の結果:埼玉B級ご当地グルメ王決定戦への来場や既存店舗への来店など、身近な生活空間としての認識向上へ貢献した。 		
取組④	違法性風俗店の排除、客引き等の取り締まり、環境浄化・美化			
実施主体	埼玉県警、川口市、西川口駅周辺環境浄化対策委員会			
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画	実際の取組内容及びその結果		
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:地域住民による防犯パトロール、クリーン作戦、路上清掃 ・実施時期:平成20年4月～平成21年3月 ・実施場所:西川口駅西口地区 ・取組の目的:違法性風俗店舗ゼロの維持、客引き・客待ちの認知人数の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施内容:①地域住民による防犯パトロール(毎月第1・第3金曜日、参加者数約30名)、②西川口活性化クリーン作戦(路上清掃、実施回数/8回)、③西川口クリーンタウン作戦(実施日/7月6日、参加者/大学生・ボランティア・町会・商店会から約30名)、④警察・消防によるマンション等所有者に対する違法風俗営業の実態と排除のための合同説明会開催(実施日/11月27日・29日)、⑤年末防犯パトロール(実施日/12月12日、参加者/町会・商店会・防犯団体・川口警察・市職員約50名)、⑥無資格マッサージ店の合同査察実施(西川口周辺10店舗、実施日/7月22日～24日、参加者/県警本部・川口警察署・川口市・川口消防本部) ・実施時期:平成20年4月～平成21年3月 ・実施場所:西川口駅西口地区 ・取組の結果:防犯パトロール等の実施により、看板を掲げる違法性風俗店舗数ゼロは維持しているが、地下に潜った(マンション等を利用)店舗を撲滅すべく、警察によるマンション等所有者に対する協力依頼により、違法店舗一掃に向け地元の機運が盛り上がっている。 		

	平成20年度の取組実施における体制・役割分担	取組の実施を踏まえた反省点								
(7)実施体制	<p>川口商工会議所が「西川口街づくりステーション」に常駐職員2名を配置し、情報発信・交流・活動拠点として機能するとともに、地域・関係団体との連携・協働、及び下記のような役割を分担した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川口商工会議所・西川口駅西口再生会議を設置し、「B級グルメタウン」としての各種事業を計画・実施し、各取組の総合調整・管理、広報等を担当するとともに、「西川口街づくりステーション」が元気再生事業に係る総合的調整拠点として機能した。 ・早稲田大学早田研究室・NPO法人学生キャリア支援ネットワーク：「市民力コーディネーター入門講座」の企画・計画及び実施を担当。 ・幸にほんご広場：既存店舗の紹介パンフレットの中国語・ハンゲル語への翻訳によるPRや外国人のまちづくり参画機会の創出を担当。 ・際コーポレーション(株)：ご当地グルメの選定やキューポラ定食の商品開発、チャレンジ店舗の選考・経営指導を担当。 ・埼玉県、川口市：「B級グルメタウン」のまちづくりや環境浄化活動などに関する各種団体の連携・参画に関する調整や、関係部局の横断的な情報提供や事業実施を支援。 	<p>取組の実施を踏まえた反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組① 埼玉B級ご当地グルメ王決定戦の開催にあたっては、西川口駅西口再生会議メンバーが中心となって商店街や町会との調整などについて事業実施面で協力体制が図られ、また、チャレンジ店舗事業の実施においては、西川口駅西口再生会議の部門別組織として不動産部会を設置しそれが中心となって事業実施したが、今後、持続的な街づくり活動の推進を図るためには、キューポラ定食の普及や既存店のご当地B級グルメの更なる発掘・PR促進などとともに、担当部門制の導入などの組織体制の充実・強化へ向けたより一層の取り組みが課題となった。 ・取組② 多様な市民参加機会の創出が図られたため、それらの人材の具体的な行動の誘発へ向けて、取組・行動目標の設定などへの展開が求められるため、地元商店会などとの連携機会の早期創出が求められている。 ・取組③ 市内在住の外国人への西川口における街づくり情報や飲食店を中心とする街の魅力についての情報発信や来街促進面での効果があった。商店会に未加入の外国人経営の飲食店などとの交流機会やまちづくり活動への参画機会の創出などへ向けての組織的活動への早期展開への対応が求められている。 ・取組④ 地区の環境浄化へ向けての各種団体などの参画による事業展開が図られたが、ソフト面での取組のみでの限界もあり、風俗の街からの根本的脱却を目指した街づくり事業の検討などが求められるため、地権者などを中心としたプロジェクトメークなど取組が不足していた。 								
(8)取組により得られた成果	<p>○成果1 → 1階の空き店舗数を2年で3割減させる</p> <table border="1" data-bbox="280 638 884 718"> <tr> <td>H19</td> <td>H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td>1階の空き店舗数:52店舗</td> <td>H20(1年目):5店舗減少(残47店舗)</td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「B級グルメタウン」としてのチャレンジ店舗事業により、新規飲食店を2店舗誘致。 ・西川口駅西口再生会議・不動産部会の不動産事業者の空き店舗及び出店ニーズの相互情報交換・マッチングにより、空き店舗への新規出店10店舗(1階路面店4店舗、上層階6店舗)。成果として、1階空き店舗数が6店舗減少した。 <p>○成果2 → 川口市民の西川口駅周辺に対するイメージの改善(市外からの来客者の西川口に対するイメージの改善より、まずは、川口50万市民の西川口に対するイメージの改善を目指す)</p> <table border="1" data-bbox="280 877 884 1037"> <tr> <td>H19</td> <td>H20(当初予定していた目標)</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ(「雑然としている」「危険・不安」「汚い」等の合計):94% ・プラスイメージ(「明るい」「きれい」「安全」等の合計):6% (H19.6市内全域消費者ネットモニター調査) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ:90% ・プラスイメージ:10% </td> </tr> </table> <p>H20(実際に得られた成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「雑然としている」「危険・不安」などのマイナスイメージの回答が85%であり、9ポイント減少した。 ・「明るい」「きれい」「安全」などのプラスイメージの回答が15%であり、9ポイント向上した。(H21.1市内全域消費者ネットモニター調査) ・埼玉B級ご当地グルメ王決定戦の開催やキューポラ定食の優勝などの実績に基づく、「B級グルメタウン」としての取組の広域情報発信と周知が図られた。「B級グルメタウン」のまちづくり活動は、「知っている」60%・「漠然と知っている」27%で合わせると87%の方が認知している。 	H19	H20(当初予定していた目標)	1階の空き店舗数:52店舗	H20(1年目):5店舗減少(残47店舗)	H19	H20(当初予定していた目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ(「雑然としている」「危険・不安」「汚い」等の合計):94% ・プラスイメージ(「明るい」「きれい」「安全」等の合計):6% (H19.6市内全域消費者ネットモニター調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ:90% ・プラスイメージ:10% 	
H19	H20(当初予定していた目標)									
1階の空き店舗数:52店舗	H20(1年目):5店舗減少(残47店舗)									
H19	H20(当初予定していた目標)									
<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ(「雑然としている」「危険・不安」「汚い」等の合計):94% ・プラスイメージ(「明るい」「きれい」「安全」等の合計):6% (H19.6市内全域消費者ネットモニター調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナスイメージ:90% ・プラスイメージ:10% 									
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度の取組成果としての「B級グルメタウン」のまちイメージの改変機会を捉え、次年度以降はより一層具現化するために、チャレンジ店舗事業の継続的的事业展開を図り、まちイメージの視認性に大きく影響する1階路面空き店舗の解消に注力する。 ・また、居住者としての外国人のまちづくり活動への参画のみならず、外国人経営者の既存のB級グルメ店舗のまちづくり参画などへの対応が課題とされ、新規店舗の誘致とともに既存店舗との連携・協働による事業展開が求められる。 ・平成20年度の市民力コーディネーター入門講座による新たなまちづくり活動の担い手・人材の参画や、西川口駅西口再生会議が協力・事業実施した空き店舗などを活用した街なかアート・パフォーマンス「西川口プロジェクト」などを通じて、人的ネットワークが形成された芸術家などとの協働により、まちの魅力向上へ向けての新たな取組・活動機会の創出、上層階の空き店舗の活用を目指したSOHOの誘致やコンバージョンの推進による多面的利用用途の誘発を目指したより一層の多参画型の事業展開が求められる。 ・風俗の街からの脱却を図るためには、埼玉県の「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例」で指定された“店舗型性風俗特殊営業の立地の禁止除外区域”の存続が大きく影響するものであり、大局的な街づくりビジョンの構築に基づく新たな街づくり事業(長期的視点に基づく風俗営業店の立地抑制に寄与する都市整備)の創出について取組む必要がある。 									

	当初提案に予定していた平成21年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成21年度以降の活動の見込みと活用を希望する支援制度
(10)平成21年度以降の活動の見込み	1. 「B級グルメタウン」のプレゼンスの拡大: チャレンジ店舗の常設化、街のイメージ向上に合わせたコーディネート等の拡大	<p>1. 「B級グルメタウン」のプレゼンスの拡大(H21～)</p> <p>(1)「西川口まちづくりクリステーション」の運営(H21年度まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 川口商工会議所、西川口再生会議、早稲田大学早田研究室、川口芸術学校、埼玉県、川口市 ・平成20年度より期間限定(2年を予定)で開設しており、日常的・直接的に地域の情報収集・発信を行う西川口の再生活動の拠点。西川口再生に係る主体のセンター機能を有するほか、日常的にテナントの出店意向の収集、ビルオーナーとのコーディネートコンバージョン支援等を担う。 <p><22年度以降の展開>まちづくりクリステーションについては、H20・H21年度の2カ年限定で商工会議所等を中心として西川口再生会議(地域の商店街組織)等と共に運営し、そのネットワークやノウハウを蓄積し、H22年度以降は地域の自立的な運営に移行する。</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額300万円)]</p>
		<p>(2) B級グルメ販売促進事業(H21年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 川口商工会議所、西川口再生会議 ・西川口グルメガイド、マップの作成、インターネット・メディアを通じた情報発信。参加協力店の協働ネットワークづくりと店舗紹介などを兼ねたスタンプラリーなどの販売促進実験事業。 <p><22年度以降の展開>21年度までに揃っている店舗を中心としたグルメガイド、マップ、インターネット配信等のベースを作成し、H22年度以降については紹介店舗からの協賛金等を得ながら、その更新等により自主運営を行う。</p> <p>[活用を希望する制度: 埼玉県の「商店街地域資源活用事業」による支援の他、地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額250万円)]</p>
		<p>(3)「B級グルメタウン」のプレゼンスの拡大に向けたチャレンジ店舗の拡大(H21年度まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 川口商工会議所、西川口再生会議、際コーポレーション(株) ・空き店舗活用の具体的誘発と、B級グルメ店舗の立地促進を図るために、際コーポレーション(株)との連携のもと、B級グルメ店舗誘致・インキュベーション施設として、B級グルメ実験実証店舗を設置(開業支援のための店舗改修や家賃補助などのインセンティブ付与)。 <p><22年度以降の展開>21年度までの「性風俗の街」からのイメージ脱却の進展度合いを見極めつつ、(1)におけるまちづくりクリステーションを中心とした出店者とオーナーとのマッチング、テナント誘致活動へと移行する。</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額400万円)]</p>
		<p>(4)西川口『駅からハイキング』による広域誘客・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 川口商工会議所、西川口再生会議、JR東日本、川口市 ・1日十万人を越える西川口駅利用者の誘客・回遊性の確保、緒に付いたばかりの飲食を中心とした新しい街のイメージの定着に向け、JR西川口駅と既存・新設店舗との連携による「駅からハイキング～B級グルメ紀行～」を実施 <p><22年度以降の展開>21年度に活動のベースを構築した上で、22年度以降については(2)の販売促進の一貫として、JR東日本及び地域商店会等を中心とした自主運営へと移行する。</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の支援を希望(想定金額550万円)]</p>
		<p>(5)川口版B級グルメ王決定戦の予選会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 川口商工会議所、西川口再生会議、川口市、川口食生活改善研究会ほか ・昨年3万5千人を誘客した「埼玉県B級グルメ王決定戦」に向けた川口版の予選会を実施 <p><22年度以降の展開>H21年度における出店・誘客状況等を勘案の上、22年度以降の継続について検討する。</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の支援を希望(想定金額200万円)]</p>
	2. まちづくりの担い手育成: 自らの手による地域の情報発信拠点の運営	<p>2. 市民コーディネーター講座の継続と活動の連携強化(21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 早稲田大学早田研究室、早稲田大学川口芸術学校、NPO法人学生キャリア支援ネットワーク ・早稲田大学西川口ラボを開設し、西川口における講義(ソーシャルリサーチ)の実施(空き店舗化した上層階での講義展開)、メディア・コミュニケーションのコーディネーター育成、職業能力開発支援・キャリアカウンセリングの実施 <p><22年度以降の展開>H21年度までに、22年度以降の1(1)、(2)の取組等の担い手育成等に努め、H22年度以降については、西川口限定の特別対策から川口市の一般経済対策の一環としての支援等に移行する。</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の継続支援を希望(想定金額350万円)]</p>
	3. 駅利用者の便利施設、近隣住民の子育て・生活利便施設の導入に向けた取組	<p>3. 商業施設以外の地域住民等から見た西川口再生(H21年度～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 早稲田大学早田研究室、川口市市民パートナーズステーション等 ・ビルオーナー、事業者の視点のみではなく、エリアマネジメントと連携した、近隣市民、生活者の視点による子育て支援施設、生活利便施設の導入についてのフィージビリティスタディ <p><22年度以降の展開>地権者の合意形成の進展が見られたブロックについての再開発事業、国土交通省のまちづくり交付金の区域指定の導入等</p> <p>[活用を希望する制度: 地方の元気再生事業の支援を希望(100万円)]</p>
	4. 安全で明るい街づくりに向けた性風俗店舗立地規制除外地域のあり方の検討	<p>4. 安全で明るい街づくりに向けた性風俗店舗立地規制除外地域のあり方の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施主体: 西川口再生会議、埼玉県、川口市 ・違法性風俗店等の取締りの継続と、風適法に基づき埼玉県条例で指定されている性風俗店舗立地規制除外地域(いわゆるソープラント街)のあり方の検討 <p>[活用を希望する制度: 無し]</p>

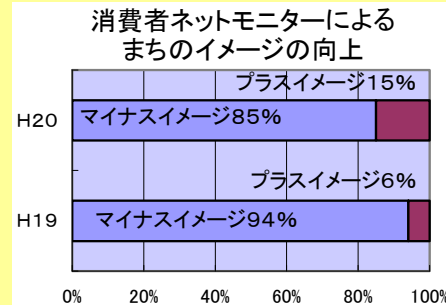
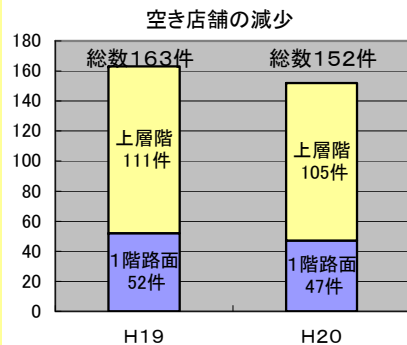
西川口・安全で明るい街への再生～性風俗の街からの脱却～(埼玉県川口市)

－川口商工会議所〔構成団体：早稲田大学都市居住環境論早田研究室・早稲田大学川口芸術学校、NPO法人学生キャリア支援ネットワーク、幸にほんご広場、際コーポレーション(株)、埼玉県、川口市〕－

◆主な実施取組の内容◆

取組①：第3回埼玉ご当地B級グルメ王決定戦の誘致・実施、新たな飲食店誘致事業としてのチャレンジ店舗事業、既存飲食店のPR、消費者モニターアンケート、HPの開設、シンポジウムの開催などを行い、「B級グルメタウン」としてのまちイメージの改善やまちの再生へ向けての取組の広域への情報発信に寄与した。

第3回埼玉ご当地B級グルメ王決定戦の開催と川口代表「キューポラ定食」の優勝



取組②：市民カコーディネーター入門講座(全6回の開催)、早稲田大学川口芸術学校学生による店舗インタビュー&若者との交流会まちづくり記録・PR映像の作成により、多様なまちづくり分野での活躍が想定される担い手育成面などに貢献するとともに、他分野からの地域活動などの提案が寄せられた。



取組③：B級グルメや個性的なメニューを取り扱う既存店舗の紹介パンフレットの中国語・ハンガール語・英語への翻訳によるPRを行い、外国人への身近な生活空間としての認識向上へ貢献した。

取組④：地域住民による防犯パトロールや西川口クリーン作戦(路上清掃)、西川口クリーンタウン作戦、年末防犯パトロール、無資格マッサージ店の合同査察などを実施し、違法性風俗店舗ゼロの維持、客引き・客待ちの認知人数の減少とともに、違法店舗一掃に向け持続的な取組として、地元の機運を盛り上げた。



◆取組実施による成果・今後の展開◆

◇H20年度の地域イメージの改変への取組とアピール効果に基づき、地域の街づくりの方向性の共有と、街づくりのノウハウの蓄積、地域の担い手を育成する。特に街づくりの中核的な役割をもつ「西川口まちづくりステーション」を活動拠点として、下記のような事業展開を図り、元気再生事業後の自主運営への移行を見据えた展開を進める。

- ・「B級グルメタウン」のプレゼンスの拡大：チャレンジ店舗の常設化、街のイメージ向上に合わせたコーディネートの拡大
- ・駅利用者(10万人/日)の利便施設、近隣住民の子育て・生活利便施設の導入に向けた取組
- ・「まちづくりステーション」のバトンタッチ：自らの手による地域の情報発信拠点の運営、埼玉県南の玄関口としての「食のポータルサイト」等への拡大
- ・安全で明るい街づくりに向けた性風俗店舗立地規制除外地域のあり方の検討